

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年 3月23日

計画の名称	1 小樽港第3号ふ頭とその周辺地区における賑わいと活力ある港湾空間の形成(第3号ふ頭周辺利用高度化事業)									
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)			交付対象	小樽市					
計画の目標	旅客船が利用する第3号ふ頭周辺の環境整備を行い、市民を含む来訪者に対して利便性及び安全性の向上を図り、賑わいと活力ある港湾空間の形成を目指す。									
計画の成果目標(定量的指標)	・小樽港の当該地区において、多目的広場でのイベント開催等による港来訪者の人数を1.3万人(H21)から3万人(H26)へ拡大									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 当該地区における港来訪者の人数を調査する。 (来訪者の増加率) = (評価時点の来訪者数 - H22当初の来訪者数) / (H22当初の来訪者数) (%)							13千人	20千人 (54%増)	30千人 (130%増)	
全体事業費	合計 (A+B+C)	345百万円	A	297百万円	B	0百万円	C	48百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13.9%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小樽市産業港湾部港湾室において実施	事業終了後、平成27年3月
	公表の方法
	小樽市ホームページ、小樽市産業港湾部港湾室事業課

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
小計(道路事業)																	
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A2-1	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	臨港道路の改良	道路改良 L=0.55km	小樽港中央地区						116	
1-A2-2	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	第3号ふ頭の岸壁改良(第3号ふ頭岸壁)	岸壁改良 L=0.80km	小樽港中央地区						181	
1-A2-3	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	第3号ふ頭の臨港道路改良(第3埠頭第1線)	道路改良 L=0.08km	小樽港中央地区						0	
小計(港湾事業)																	
合計												297					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	施設整備	北海道	小樽市	直接	小樽市	多目的広場整備	多目的広場整備	舗装・外周整備	小樽港中央地区						18	
1-C1-2	施設整備	北海道	小樽市	直接	小樽市	施設整備	案内掲示板の整備	案内掲示板 2基	小樽港中央地区						2	
1-C1-3	施設整備	北海道	小樽市	直接	小樽市	施設整備	照明の整備	歩道照明 10基	小樽港中央地区						10	
1-C1-4	施設整備	北海道	小樽市	直接	小樽市	施設整備	大型客船の係留検討	係留検討	小樽港中央地区						18	
										合計					48	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C1-1	港湾事業(1-A2-1～3)と一体的に多目的広場を整備するとともに、クルーズ客船歓迎のイベント活動を支援することで、賑わいと活力ある港湾空間の形成を図る。															
1-C1-2	港湾事業(1-A2-1～3)と一体的に案内掲示板を整備することにより、賑わいと活力ある港湾空間の形成を図る。															
1-C1-3	港湾事業(1-A2-1～3)と一体的に歩道照明を整備することにより、賑わいと活力ある港湾空間の形成を図る。															
1-C1-4	港湾事業(1-A2-1～3)と一体的に大型客船の係留検討を行い、寄港可能な客船規模を把握することで、小樽港の利活用促進及び第3号ふ頭の賑わいと活力ある港湾空間の形成を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・第3号ふ頭の岸壁改良や第3号ふ頭中央線などの道路改良を行った結果、港来訪者に対して利便性及び安全性が向上し、賑わいと活力ある港湾空間が形成された。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（来訪者の増加率）	最終目標値	30千人（130%）	目標値と実績値に差が出た要因	/
		最終実績値	30千人（130%）		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・第3号埠頭中央線などの照明や舗装整備により、第3号ふ頭や第3号ふ頭多目的広場へのアクセスにおいて、利便性及び安全性が向上した。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 今後は、次期社会資本総合整備計画（仮称：小樽港における安全・安心な港湾環境の形成（防災・安全））において、老朽化した施設の改良を継続し、安全・安心な港湾環境の形成に努める。					

# 活力創出基盤整備

計画の名称	1 小樽港第3号ふ頭とその周辺地区における賑わいと活力ある港湾空間の形成(第3号ふ頭周辺利用高度化事業)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	小樽市

凡 例

- 基・区域
- 基幹事業
- 効果促進事業
- 別途事業

